経営比較分析表（令和6年度決算）

群馬県　みどり市

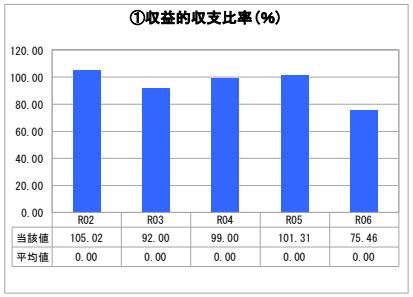
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	該当数値なし	1.40	93.34	2,310

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
48,470	208.42	232.56
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
676	0.42	1,609.52

グラフ凡例
- ■　当該団体値（当該値）
- ー　類似団体平均値（平均値）
- 【】　令和6年度全国平均

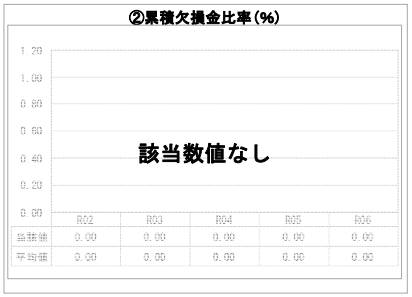
1. 経営の健全性・効率性

①収益的収支比率(%)



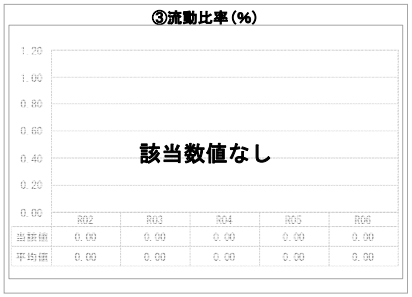
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	105.02	92.00	99.00	101.31	75.46
平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

②累積欠損金比率(%)



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

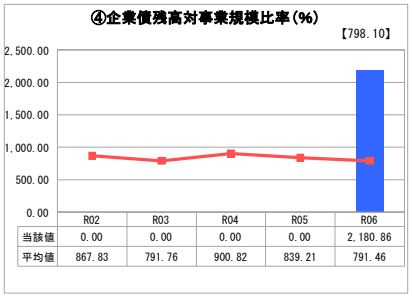
③流動比率(%)



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

④企業債残高対事業規模比率(%)

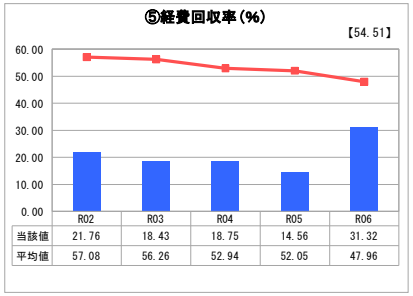
【798.10】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	2,180.86
平均値	867.83	791.76	900.82	839.21	791.46

⑤経費回収率(%)

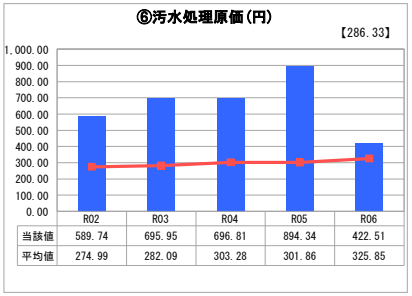
【54.51】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	21.76	18.43	18.75	14.56	31.32
平均値	57.08	56.26	52.94	52.05	47.96

⑥汚水処理原価(円)

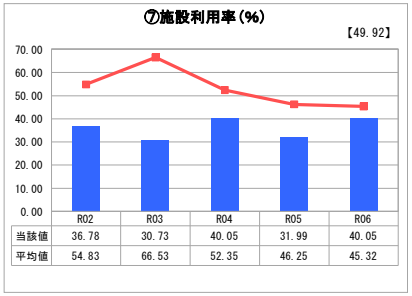
【286.33】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	589.74	695.95	696.81	894.34	422.51
平均値	274.99	282.09	303.28	301.86	325.85

⑦施設利用率(%)

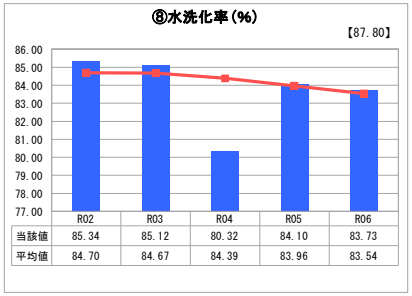
【49.92】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	36.78	30.73	40.05	31.99	40.05
平均値	54.83	66.53	52.35	46.25	45.32

⑧水洗化率(%)

【87.80】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	85.34	85.12	80.32	84.10	83.73
平均値	84.70	84.67	84.39	83.96	83.54

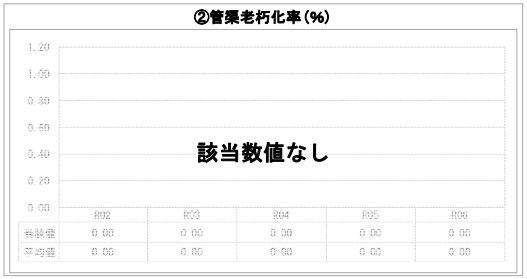
2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

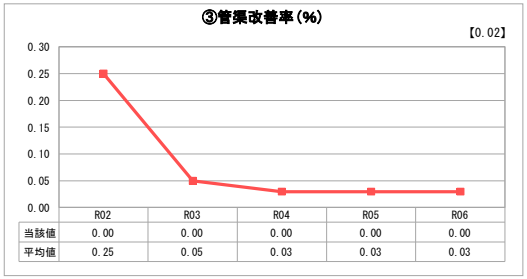
②管渠老朽化率(%)



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

③管渠改善率(%)

【0.02】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.25	0.05	0.03	0.03	0.03

※　法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、100%を下回っている。過疎化が進んでいる地域であることから、使用料収入の増加は見込めず、一般会計からの繰入金に依存しているため、更なる経営改善が必要である。
④企業債残高対事業規模比率は、令和6年度に公営企業会計適用事業債の借入を行ったことから増加している。また、事業開始から年数が経過し、今後更新工事が必要になる可能性がある。一般会計からの繰入金に依存することなく、使用料収入で賄うことができるよう、料金改定を視野に入れた経営改善に取り組む必要がある。
⑤経費回収率は、過疎化により使用料収入の増加が見込めず修繕費等も増加傾向にあるため、引き続き経費節減に努め、料金改定を視野に入れた経営改善に取り組む必要がある。
⑥汚水処理原価は、施設の老朽化に伴う改修費用等の増加により、類似団体平均値よりも高い状況である。
⑦施設利用率は、過疎化が進んでいる地域であるため、有収水量も減少傾向で、類似団体平均値よりも低い状況となっている。今後も有収水量の増加は見込めないことから、経営改善を行う必要がある。
⑧水洗化率は、処理区域内の人口減少に伴い、接続人口も減少していることから、向上は見込めない。

2. 老朽化の状況について

供用開始後25年が経過し、機械器具類が耐用年数を達しており、老朽化による維持修繕等の経費が増加している。処理場においては、更新費用を平準化し、計画的な改修を進めていく。管渠については、将来の人口減少を見据えて、更新投資に充てる財源の確保をする必要がある。また、施設更新については、交付税措置のある過疎対策事業債を活用し、財政負担の抑制を図っていく。

全体総括

本市の農業集落排水事業は、水洗化率が80%台を維持しており、類似団体平均値と同程度である。しかし、過疎化による人口減少で有収水量の増加が見込めないため、一般会計からの繰入金に頼らざる得ない状況にある。引き続き、維持管理費の縮減に取り組むとともに、将来の人口減少を見据えて、料金改定も視野に検討をしていく必要がある。